

卒業論文体験談

○はじめに

卒業論文提出まで約1ヶ月となりました。みなさん進行状況はいかがでしょう。私は去年の今頃、1月の提出に向けて、論文を仕上げていくのにかなり追い込まれていました。今回は、これからの約1ヶ月で何をしておくべきなのか、私の経験をもとにお伝えしたいと思います。

○12月

- ・書き進めて仕上げていく。
- ・『卒業論文作成マニュアル』を確認し、書式設定は済ませておく。
→『卒業論文作成マニュアル』は龍谷大学真宗学会のホームページからダウンロードできる。**※書式が間違っていると受理されません。**
- ・12月中旬までにゼミの先生に出来上がったものを1度は見せて、アドバイスをいただく。
- ・年末年始は図書館が閉まっていることを頭に入れておく。
大宮（12月29日～1月3日）/深草・瀬田（12月29日～1月5日）

○1月

- ・最終確認（書式、誤字脱字、註、参考文献など）
→チェックシートで確認する。
- ・**25ページを超過する場合は、指導教員の印鑑を中表紙に押しもらう。**
- ・友達などに読んでもらい誤字脱字が極力ないようにする。
- ・提出日前日までに印刷しておく。（当日はパソコン室が混み合う）

○口述試問に向けて

- ・**正誤表の作成**
- ・何度も読み直し、口述試問に備える。
- ・自分の論文の要旨を説明できるようにしておく。
→何を述べたいのか、何を明らかにしたいのかははっきり言えるようにする。
- ・専門用語などの難しい言葉は必ず説明できるようにしておく。

○その他注意事項

- ・理解していない言葉は使わない。
- ・バックアップは保存場所を複数に分けておく。
→USB、Gmail 等
- ・参考文献の最後のページを印刷しておく。
→参考文献を書く時に便利。
- ・見直しの際、印刷してから読む。
→紙で読む方が誤字脱字を見つけやすい。
- ・先生へ相談する時は、事前に連絡することを忘れずに。
- ・論文を保存する際、毎回新しく保存する。
→消してしまった箇所が後になって必要になる可能性がある。
- ・引用した資料がどの立場で書かれたものなのかを把握しておく。
- ・提出日は2日あるが、初日に出せるように準備しておく。
- ・読んでもらうという意識を持つ。
→どんなに内容がしっかりしていても、主語が曖昧であったり、接続語が不適切であったり、文脈がおかしかったりすると読みにくい論文になってしまう。読みやすく、きれいな文章になるように心がける。

○おわりに

卒業論文は大学生活の集大成だと思います。提出まで後約1ヶ月で、おおよその目処がついている人、焦りしかない人、人によって状況は様々だと思いますが、体調管理をきちんとし、2月の口述試問が終わるまで気を引き締めて頑張ってください。

※インフルエンザの予防接種も忘れずに

提出期間：2018年1月10（水）10時～17時

11（木）10時～15時（厳守）

提出物：チェックシート（1枚）、卒業論文（2部）